

令和5年度 伊井小学校スクールプラン

【児童の実態】

- ・素直で純朴である
- ・行事や委員活動等において、役割、責任をしっかりと果たそうとする
- ・異学年児童間の交流が多い
- ・切磋琢磨し伸びようとする意欲が少ない
- ・学級内の人間関係が固定化しがちである
- ・知識、技能の活用力に課題がある

【教育目標】 心豊かなたくましい子の育成

【目指す学校像】

- ・個性や能力を伸ばす学校
- ・健康で安全な学校
- ・保護者、地域に開かれた学校

【目指す児童像】・自ら学習に励む子 ・きまりを守り心のやさしい子 ・心も体も鍛える子

【教師の願い】

- ・他者の良さに気づき認め合う子に
- ・主体的に学習に取り組む子に
- ・学校が好きな子に

重点目標

「確かな学力」

- ◎「引き出す教育」「楽しむ教育」の推進
- ◎基礎・基本的な学力の定着
- 読書習慣の育成

「豊かな心」

- ◎挨拶やきまりを大切にする子の育成
- ◎いじめ・不登校未然防止
- 道徳教育の充実と人権意識の向上

「健やかな体」

- ◎望ましい生活習慣の育成
- 主体的に取り組む運動習慣の育成
- 安全教育の推進

「信頼される学校」

- ◎ふるさと学習の推進
- 積極的な学校公開、情報発信

具体的な取組

- ・課題や振り返りの工夫、友達との学び合い、個に応じた支援をし、わかる喜びを感じられる授業づくりをする。
- ・「伊井っ子自主学習メニュー」、学力向上週間を通し、進んで学習しようとする態度を養う。
- ・情報活用能力の育成、指導の個別化に向け、ICT機器を効果的に活用する。
- ・反復練習、月1回の校内テストで基礎力を向上。
- ・スピーチ集会で、話す聞く力をつける。
- ・朝読書や読み聞かせ、週末読書、親子読書等で、読書に親しむ習慣をつける。

- ・委員会の啓発活動、学級指導等を通し、自分から明るく挨拶する子、きまりを守り人に迷惑をかけない子を育成する。
- ・異学年交流、無言清掃、なかよし集会、SST、集団登下校等で、思いやりの心を育てる。
- ・児童の様子をよく観察し、心に寄り添う。年3回の生活アンケート、「ハートふれあい週間」（児童面談）を実施する。SC、SSW、特セと連携する。
- ・週に1回、児童理解の場を設ける。
- ・考え、議論する道徳科授業を行う。（1回以上公開）

- ・生活点検、保健指導を通し、家庭と連携した「早寝、早起き、朝ごはん」の定着に努める。
- ・スマートルールをもとに、親子でルールづくりとノーゲーム、ネット週間を実施する。
- ・マスク、手洗い、換気の習慣化、三密回避により、感染症対策を徹底する。
- ・週2回の業間運動（マラソン・縄跳び）では、めあてを設定して意欲を高め、技術の向上を図る。
- ・交通安全教室、防災・防犯訓練、ひまわり教室等を実施し、危機意識・判断力を高める。

- ・ふるさと学習では、一人一人が問題意識をもって自分にできることを実践し、地域のためにできることを広げていく。
- ・保護者、サポート会、地域の方とかかわりながら、「もの・ひと・こと」にふれた体験活動や探求学習をし、ふるさとに愛着をもつようにする。（創立150周年記念準備期間の充実）
- ・各種たより、Home&School、ホームページ（ブログ）等で、学校の様子や連絡を適時発信する。

数値目標

- ・授業がよくわかると答える児童 90%以上
- ・ICTを効果的に活用する教員 100%
- ・家庭学習を学年に応じた時間取り組む児童 90%以上
- ・学校や家庭で読書に親しむ児童 80%以上

- ・自分から進んで挨拶する児童 80%以上
- ・きまりを守っている児童 90%以上
- ・相手を思いやり、親切にする児童 90%以上
- ・学校が楽しいと思う児童 90%以上
- ・児童理解に努める教員 100%

- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣が身についている児童 90%以上
- ・TV、ゲーム、インターネット利用について、スマートルールや家庭のルールを守っている児童 80%以上
- ・めあてをもって運動に取り組む児童 90%以上

- ・地域に興味をもち、自分たちのふるさとが好きだと答える児童 90%以上
- ・地域とのかかわり合いを取り入れた学習を進めている教員 90%以上
- ・学校は教育活動の様子をよく発信していると思う保護者 90%以上

<業務改善のための取組>

- ・校時表の見直し
- ・終礼週1回、C4thによる情報共有
- ・行事（業務）の精選、内容の吟味
- ・会議の時間目処の提示
- ・企画委員会での事前協議の充実
- ・月2回 17時退庁デーの設定
- ・学年通信の簡略化（HPの充実）
- ・看護当番は無担任で